かなめ流通のポットライ



クリーニングは、店員の接客がお客様に与える印象に大きなウエイトを占めて います。マニュアルも大事ですが、お客様によっては臨機応変に対応することが 求められる商売だと思います。今号では、なぜ接客が必要なのか、どんな接客が 必要なのかを考えました。また、「接客チェックリスト」を作成しましたので、 是非チェックして、ご自分のお店の接客がお客様に喜ばれる接客かどうか確かめ てみて下さい。

価値を伝える接客

例えば、コンビニエンスストアを想像して ください。近いエリアに数店舗が密集し、商 圏はバッティングしています。そして、売っ ているものに大きな差はありません。そんな 状況で、何を基準に選ぶかといったら、「近 さ」という人もいるかもしれませんが、「接 客のよさ」を重視する人もいます。

クリーニングも「どこのクリーニング店も 品質は大して変わらない」と消費者に思われ てしまっているのが現状です。品質や商品と いった「価値」を、接客を通じて伝えていく べきではないでしょうか?

クレーム対応でお客様が増えた!

某クリーニング店では、ネットで直接きたクレームを、受付の一番見えるところに「こ ういうクレームがあって、このような改善策をとっていきます」ということも添えて貼り 出しました。

それからすごくお客様が増えたそうです。実際にクレームを受け取ってくれて、自分の 言ったことに対して個別に対応してくれているという、一種の感動要因だと思います。

接客はお店の強みになる

ある駅前のパン屋さんでは、毎朝サラリーマンやOL風のお客様が店を出ていくときに、 店員が「いってらっしゃい」と声をかけるそうです。ほんのわずかなことですが、これは 「家族同様にあなたのことを思っていますよ」という見えない部分のおもてなしがあって 初めて出てくる言葉。 今はお客様とのふれあいやコミュニケーションがどんどん欠けてき ているので、逆にこういう姿勢がお店の個性や強みになりえるのではないでしょうか。

ックリストで

では、実際にお客様と接する受付スタッフの人の接客がどうなのか、チェ ックしてみましょう。意外と見えていない部分が見えてくると思います。

- ① 上位2割の顧客で約8割の売上を 占めています。従って、特に上位のお 客様については、顔と名前は覚えるべ き。お客様は名前で呼ばれると「特別 感」を感じ、うれしいものです。
- ② マニュアル通りの接客では感動を 生めません。感動を生まないとリピー ターも増えません。上記のパン屋さん の例のように、「目に見えない部分」 で感動を生みましょう。
- ③ 当たり前のことですが、お客様の商品は"赤ちゃん"のように丁寧に扱 うもの。煩雑に扱うのは論外です。「で きているつもりだった」ということが あるかもしれません。
- 4 営業店同士のヨコの行き来はすご く参考になります。売上の良い店舗の 接客、そうでない店舗の接客は何が違 うのかを知ることも、接客レベルを上 げるひとつの方法です。
- 受付スタッフさんが自店にクリー ニングを出していれば、お客様に自信 を持って勧めてくれるでしょう。逆に 出してくれないのであれば、自店の品 質に問題があるのかもしれません。
- ⑥ クレームは受付スタッフが大半を 受け付けます。そのスタッフがしっか りとクレーム対応できればお店の信頼 にも繋がります。クレームになるかど うかは受付次第であることも。
- お客様に「クリーニングを伝える」 ことも立派な接客のひとつ。そのため に商品知識は欠かせません。衣服やク リーニングについて新たな知識を得た お客様はきっと喜ぶはずです。
- いろいろなファッションを理解し ていたら、受付時の会話に幅が出るこ とは間違いありません。
- ⑨ これも、自店のことをどれだけ分 かっているか、ということに繋がりま す。自店の強みが分かってこそ、自信 を持ってお客様に自店の商品をお勧め できます。
- 受付と工場、双方のことを知って いた方が、お客様に伝えられる内容も 豊富になり、工場の知識があれば、対 応できる幅も広がります。

接客チェックリスト Agenco・×をつけて下さい のが6つ以下なら今すぐ改善し
①上位客の顔・名前を覚えていて、名前で呼んでいる
②「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」等の マニュアル通りの言葉以外の「言葉の工夫」をしている
③お客様の商品を丁寧に扱っている

④「売れる人」「売れない人」の接客の違いが分かっている

⑥クレームの対策(改善策)がしっかりあって、 それが受付の人まで浸透している

⑤自分のお店にクリーニングを出してくれている

⑦商品知識があって、それをお客様に伝えている

⑧おしゃれに興味を持っている

⑨他店との違いを聞かれて説明できる

⑩受付と工場の連携・交流ができている

次回:付加価値商材の活用法

ましょう!



簡単・ワンタッチレジ

品名登録144品

値引・割引自動計算

品名別点数集計可能

伝票発行3枚可能

消費税変更日を予約可能 設定日に自動的に変更

消費税率も簡単変更 内税・外税も簡単設定

TEL: 03-5295-0136 GROUP FAX: 03-5295-0130